

教材教具名	コミュニケーションブック	分類	コミュニケーション
		授業名	全学部
ねらい	発語がない、あるいは十分ではない児童生徒の意志表出を保障する		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

要求（ほしいものや行きたい場所）のカードを子どもが選んで、支援者に渡す。支援者はカードを受け取り、子どもが要求したものと交換する。

<工夫点>

導入にあたり、子どもの要求が出てくるような活動場面を設定しておく（好きそうなおもちゃを教室に置く、遊びに行つて楽しい場所を体験させておくなど）。

<効果>

人との関わりに興味を持つことができるようになり、大人からの働きかけにも注目するようになった。

教材教員名	場所カードブック	分類	コミュニケーション
		授業名	中学部
ねらい	場所カードを見ながら、場所を表すサインや発音を覚える		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・場所を示しながら、その場所を表すサインと発音を覚えたり、確かめたりする。
- ・行きたい場所を示す際に、相手に場所カードを見せて伝える。

<材料>

フォトアルバム、場所の写真

<工夫点>

- ・場所の写真と一緒に文字も示し、文字にも慣れるようにした。
- ・いつでも取り出しやすいように、児童の手が届く場所に置いた。

<効果>

- ・場所を表すサインを児童も覚え、サインで示すことができるようになった。
- ・休み時間にもよく見ている、教員と楽しみながら場所のサインをしあった。

教材教員名	コミュニケーションボード	分類	コミュニケーション
		授業名	日常生活（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 相手を意識することができる。 • 人に要求などを伝えることができる。 • 複数の物から1つを選ぶことができる。 		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

（複数のものを全部、手にとろうとするので）

- 教員がボードから2枚のカードをとり、提示して、したいことや今の気持ちがどちらなのかを選ばせる。

<結果>

- 複数から2枚に減らしても、あればあるだけカードをとってしまう。